

0.1%となった湿原を守る気持ちがつなぐ 自然、人、未来



平成9年6月に札幌拓北高校*1理科研究部の取り組みをきっかけに、かつての石狩湿原の自然を保つための活動をスタートさせました。

団体名にもある「カラカネイトンボ」は25～28mmと非常に小さく、札幌市版レッドリスト*2では絶滅危惧種に指定されており、札幌市内では篠路福移湿原にしか生息していません。学名はネハレニア スペシオーサ(優美な女神の意)といい、自然を守る女神を活動のシンボルとし、トンボをはじめ多様な生き物が生息できる環境作りに取り組んでいます。

篠路福移湿原の埋め立てから動植物を守るために設置されたビオトープ*3の整備や、トンネウス沼が本来の機能を果たせるように地域の方々とともに環境整備を実施しています。その他、年間を通して自然と触れ合えるイベントを多数開催しています。

- *1 統合のため平成27年閉校
- *2 絶滅のおそれのある野生生物のリスト
- *3 野生動植物の安定した生息地



<特定非営利活動法人 カラカネイトンボを守る会 あいあい自然ネットワーク>

設立 平成9年6月
代表 綿路昌史
所在地 002-8073 北海道札幌市北区あいの里3条7丁目15番10号

電話 090-4879-4279
MAIL karakaneitonbo@yahoo.co.jp
HP <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~karakane/>

あいの里沼づくりー身近な自然とふれあい隊ー

平成29年6月18日(日)
8月20日(日)

茨戸川でのビオトープ整備

植物のお世話を通して
自然の大切さを実感!



カヌー体験

川から見る自然はいつもとちがう!



ビオトープでの移植作業

豊かな自然を未来の子どもたちに!

あいの里公園での活動

平成29年8月11日(祝・金)
9月9日(土)



捕まえたトンボを標本にするよ。



トンネウス沼の環境整備

手作業でヨシやマコモなどの植物を取り除くよ。



昆虫採集教室

活動への想い

自然環境の保全に取り組む中で、小さな子どもから大人まで幅広い年代の人たちが交流しながら、カヌー体験や田植え体験など自然に触れる行事も多数行っています。特に高校生は研究に打ち込む熱意がすごいです。子どもたちにトンボの採り方を楽しく教える先生役にもなってくれるため「お兄さん・お姉さん」と慕われています。

このように地域一体となって、昔ながらの本来あるべき姿の自然に、真剣に向き合う人々が増えるような活動を続けています。